

## 令和3年度 学校評価（児童生徒用）結果分析・考察

児童生徒による学校評価は、15の評価項目を◎（とても思う）、○（思う）、△（思わない）、×（ぜんぜん思わない）で評価を実施。79名（小学部17名、中学部27名、高等部35名）が回答（全体の約38.7%）。

### ◎（とても思う）、○（思う）の回答率が90%以上の項目

- ①学校や私のクラスは楽しい。(98.7%)
- ②先生は、わたしたちの話や意見をよく聞いてくれる。(98.7%)
- ③授業は、わかりやすく楽しい。(98.7%)
- ④授業でわからないところは丁寧に教えてくれる。(98.7%)
- ⑤先生はよくほめてくれる(94.9%)
- ⑥先生になんでも(おうちや友達のこと)相談できる。(91.1%)
- ⑦先生は秘密をまもってくれる。(93.6%)
- ⑧担任以外にも気軽に相談できる先生がいる。(93.6%)
- ⑨先生は、いつでも私たちを守ってくれる。(98.7%)
- ⑩先生は私たちの将来のことについて、よく話してくれる(94.9%)
- ⑪学校は、掃除されていてきれいだ。(97.4%)
- ⑫他のクラスとの交流や学校行事は楽しい。(94.9%)
- ⑮地震・津波・火事の訓練では、避難の方法がわかった(96.2%)

前年度同様「◎（とても思う）、○（思う）」の90以上項目は維持している。コロナ渦、職員全体、PTA、関係機関、地域と連携し学校全体として、安心安全な環境づくりと指導への対応が個々の不安感の解消や学校生活の充実感に繋がったと考えられる。諸活動を通して対話的で、雰囲気良く、見通しを持てる環境であると考えられる。日々の幼児児童生徒の様子を注意深く捉え、配慮が必要な事案に対して各関係部署が情報を共有し迅速に対応していた結果だと思慮される。特に①～⑥の結果からは生徒等の成就感や自尊感情の成長に繋がる要素が何れも、学校教育目標達成に今後も必要不可欠な評価と考えられる。

### △（思わない）、×（ぜんぜん思わない）の回答率が20%以上の項目またはマイナスとなる項目

- ⑭学校で、友達にいじめられたことがある。(10.1%) 8/79

いじめに関するアンケート調査では、「いじめられたと思う」が1件でもあれば迅速に対応する体制をとっている。確認の結果、いじめられたと思うとする8名の数値の実態、状況は、8名中、1名が「ネチネチした言葉（いじわるな言葉）」を受けたとされる事案であった。状況を把握し当事者含む関係者で対応したところ休憩時間や遊びの中で互いに干渉しすぎ合った状況下での事案であった。互いに解決し普段通りの関係に戻っている。

他7名は、質問の捉え違いで、「関わりの中でじゃれ合った状態、遊び半分ふざけあつたりと精神的な苦痛、悩み」となる数値ではないことが判明しました。

また、学校評価アンケート以外でも定期的なアンケートを実施し細心の注意を図り対応しています。学校評価アンケート結果、全体の10.1%の内訳は、小1件・中1件・高6件でした。上記でも述べたように「活動中のじゃれ合い、遊びの範囲での言い合い」が殆どで、精神的・身体的な苦痛や悩みに発展する事案ではなかった。今年度は、いじめでの外部スクールカウンセラーに繋げる事案もなく安定していたことがうかがえます。今後も学校生活、授業中での人権教育の推進、言葉遣い、関わり方、パーソナルスペース、コミュニケーションの取り方などを対話的に進める必要があります。

更にいじめ防止に関しては、未然防止の取り組みと常日頃の会話、目配り、職員間の情報の共有が不可欠であり、児童生徒からの相談や児童生徒間のトラブルがあれば、すぐに対応する協力体制の推進が今後も重要である。

《意見コーナー》学校でこうすればいいのにと思ったことがありましたら、書いてください。

#### 幼小学部

- ・他学年のお友達とあそびたい
- ・警察署と美容室の見学をしたい。学校にも来て話をして欲しい。

など

#### 中学部

- ・もうちょっと行事を増やしてほしいです。
- ・皆と一緒にレコーディングいきたいです。一緒にカラオケ、公園、ボウリングをしたいです
- ・給食に唐揚げを出してください。おいしいスイーツの食べ放題がほしい

#### 高等部

- ・みんなが笑顔、ニコニコ学校になってほしい
- ・もし友達がけんかしたら私が止めます
- ・みんながあかるく楽しくすごせるように

意見コーナーは、児童生徒の素直な意見として受け止め、学校、家庭、PTA、関係機関が今後も連携して個々の成長に繋がる対応を継続して取り組む必要があると考えます。